

平成30年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	韮崎市旭町上条南割～南アルプス市有野	地区名	(主) 韮崎南アルプス中央線(旭バイパス)	事業主体	山梨県	
計画期間	当初計画	現計画	⑤これまでの評価状況 (平成19年度事前評価)						
	H20～H27	H20～H30	変更計画	この事業は、主要地方道韮崎南アルプス中央線のうち韮崎市上条南割から南アルプス市有野地内の沿道に人家が密集している区間においてバイパス整備を行うものである。交通量も多く幅員も狭いことから、歩行者はもとより通行車両の安全確保のためにも必要な事業であり、実施が妥当である。					
総事業費	2,500 百万円	—	2,040 百万円	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)					
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果									
<p>本路線は、韮崎市の国道20号交差点を起点とし、中央市の国道140号交差点に至る全長約34kmの主要地方道であるが、御勅使上橋や南アルプス市有野地内の区間は、幅員が狭くカーブが多いため通行に支障をきたしており、地域の住環境に悪影響を与えている。周辺には、社会福祉村施設や工業団地が点在しており、白根ICや南アルプスIC方面からこれらの施設への利便性やアクセス性が課題となっている。また、白根源小学校に通学する児童の脇を車両が走行し、交通事故の危険があることから、早急な道路整備が望まれている。</p> <p>□主要目標 ○市町村中心地、大規模拠点施設へのアクセス向上 道路改良率 52.0% < 64% ※未済 混雑度走行速度 20km/h ≤ 30km/h ※以下</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保</p> <p>□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 第二次緊急輸送路の整備</p> <p style="text-align: right;">※評価基準値</p>									
②事業概要									
□現計画 道路改良 L=2,000m W=6.5(13.0)m									
□変更計画 道路改良 L=1,200m W=6.5(13.0)m									
③全体計画									
		平成29年度まで	平成30年度 (評価実施年度)	平成31年度以降					
現計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償 道路改良 L=1,800m	道路改良 L=200m	/					
	事業費	2,400 百万円	100 百万円						
変更計画	工事内容	測量設計	測量設計 用地取得・補償	測量設計 用地取得・補償 道路改良 L=1,200m 橋梁工 一式					
	事業費	145 百万円	120 百万円	1,775 百万円					
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。									
④特記事項 (関連事業概要等)									
<ul style="list-style-type: none"> 旭有野バイパス (北新田交差点～飯野一区交差点) H29～H36 C=850百万円 L=1,540m W=6.5(13.0)m 									
③ 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]									
		項目	着手時点	変更計画時点					
		総事業費	2,500 百万円	2,040 百万円					
		工期	H20～H27	H20～H39					
		評価基準年	H19	H30					
経済 効 率 性	費用	費用	2,123 百万円	1,679 百万円					
		建設費	1,953 百万円	1,587 百万円					
		維持管理費	170 百万円	92 百万円					
	便益			百万円	百万円				
		便益	4,665 百万円	2,665 百万円					
		走行時間短縮便益	4,213 百万円	2,498 百万円					
		走行費用短縮便益	411 百万円	102 百万円					
		交通事故減少便益	41 百万円	19 百万円					
		その他※		百万円	46 百万円				
			B/C	2.2	1.6				
費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益									

2. 評価シート

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]	⑥変更計画の変更内容 (事業費)									
<p>①これまでの計画変更等の概要 圃場整備構想を含めた地元調整を行うため、事業期間を3年間延長している。</p> <p>②進捗率 別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 起点側の田園地帯において、地元調整に時間を要している。 なお、部分的な工事完成により、整備効果が発現する現道拡幅事業と違い、本計画については、全線に渡る工事完成で整備効果が発現するバイパス事業であることから、全計画区間の地元同意が図られるまで用地取得に着手していない。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑤変更計画の進捗予定 (期間) 県道甲斐早川線から県道飯野新田白根線までの区間を事業化しており、白根ICや南アルプスICから社会福祉村施設や工業団地へのアクセス性をさらに向上させ、整備効果を早期に発現させるため、交差する韮崎市道を境に計画区間を分割し、圃場整備の可能性を有する区間を除いた韮崎市道から南アルプス市側の集中的な整備を行う。 変更計画に基づく執行に努め、平成39年度の完成を目指す。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路改良 L=1,200m</td> <td>460 百万円 減</td> <td>整備効果の早期発現のため、計画区間を細分化し集中的に整備する見直しを行う。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>460 百万円 減</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	道路改良 L=1,200m	460 百万円 減	整備効果の早期発現のため、計画区間を細分化し集中的に整備する見直しを行う。	合計	460 百万円 減	
変更工種等	事業費増減	変更理由								
道路改良 L=1,200m	460 百万円 減	整備効果の早期発現のため、計画区間を細分化し集中的に整備する見直しを行う。								
合計	460 百万円 減									
(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮]	なし									
(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]	なし									
(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]	なし									
(8) 所管部の今後の方針	継続 見直し 継続・その他 ()									
	(理由) 白根ICや南アルプスICから社会福祉村施設や工業団地へのアクセス性の向上が図れるとともに、歩行者はもとより、通行車両の安全確保を行う上で必要な工区であることから、変更計画に基づく平成39年度の完成を目指す。									

○別表-進捗率 (事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	*H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	
現	計画	2.0	14.0	30.0	46.0	62.0	74.0	80.0	86.0	92.0	96.0	100.0										
	実績	0.6	0.6	1.4	1.4	2.5	5.0	5.7	5.8	5.8	5.8	10.6										
変更計画												13.0	17.9	26.3	30.4	34.3	50.5	64.2	85.3	97.5	100.0	

*事業着手年度又は評価年度

3.添付資料シート(2)



①幅員狭小状況



③幅員狭小状況



②幅員狭小状況・通学状況



④幅員狭小状況

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H20	14,351	測量設計	0.7%
H21	0	測量設計	0.7%
H22	20,000	測量設計	1.7%
H23	0	測量設計	1.7%
H24	28,094	測量設計	3.1%
H25	62,245	測量設計	6.1%
H26	18,503	測量設計	7.0%
H27	2,567	測量設計	7.1%
H28	0	測量設計	7.1%
H29	0	測量設計	7.1%
H30	120,000	測量設計、用地・補償	13.0%
H31	100,000	用地・補償	17.9%
H32	170,000	用地・補償、道路改良工	26.3%
H33	85,000	用地・補償、道路改良工	30.4%
H34	80,000	用地・補償、道路改良工	34.3%
H35	330,000	用地・補償、道路改良工、橋梁工	50.5%
H36	280,000	道路改良工、橋梁工	64.2%
H37	430,000	道路改良工、橋梁工	85.3%
H38	250,000	道路改良工、橋梁工	97.5%
H39	50,000	道路改良工	100.0%
合計	2,040,760		